



かわじま

議会だより

No.138

埼玉県川島町議会
令和4年7月25日



川島産の新鮮な野菜を給食に活用

5月臨時会・6月定例会審議結果 2 ~ 3

6月定例会 委員会の動き 4

一般質問 町の考えを問う 5 ~ 10

5月臨時会

令和4年5月臨時会は5月11日の会期1日間で開催されました。
専決処分2件、工事請負契約の締結2件が審議され、全議案を可決・承認しました。

6月定例会

令和4年6月定例会は6月8日から6月15日までの会期8日間で開催されました。
条例改正4件、補正予算2件、町道の認定1件、人事案件1件が審議され、審議の結果、
全議案を可決・同意しました。

6月定例会の主な議案

令和4年度川島町一般会計 補正予算（第1号）

9,147万6千円

国の緊急経済対策と合わせ、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、原油価格や物価高騰に直面する生活困窮者の負担軽減に資する支援事業を行うものです。

川島町公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例を定めることについて

出丸公民館及び小見野公民館を移転するにあたり、両公民館の位置を変更するための条例改正です。

川島町子育て支援医療費支給に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

子育て支援医療費の県内現物給付化が令和4年10月診療分から実施されることに伴う条例改正です。

令和4年度川島町一般会計 補正予算（第2号）

302万円

主に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などを各事業へ財源振替を行うものです。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、自宅療養されている方を支援するための追加補正や、寄附の受入れに伴う図書購入費の追加の補正予算となります。

川島町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

ひとり親家庭等の医療費の県内現物給付化が令和5年1月診療分から実施されることに伴う条例改正です。

川島町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

重度心身障害者医療費の県内現物給付化が令和4年10月診療分から実施されることに伴う条例改正です。

各議員の賛否

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席を表しています。また、「―」は議長もしくは退席のため表決しておりません。

上程された議案	結 果	議 員 氏 名													
		加藤進	渋谷幸司	矢内秀憲	粕谷克己	柴田一典	稲村美代子	新井悦子	爲水順二	森田敏男	菊地敏昭	石川征郎	道祖土証	小高春雄	小峯松治
5月臨時会 (審議結果)															
専決処分の承認															
専決処分の承認 (川島町税条例の一部改正)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
専決処分の承認 (川島町国民健康保険税条例の一部改正)	承認	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	―
契約に関すること															
工事請負契約の締結 (川島町立伊草小学校トイレ改修工事)	可決	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	―
工事請負契約の締結 (川島町学校給食センターボイラー更新及び災害用バルク設置工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
6月定例会 (審議結果)															
条例の一部改正															
川島町公民館設置及び管理条例の一部改正	可決	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	―
川島町子育て支援医療費支給に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	―
川島町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	―
川島町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	―
令和4年度 補正予算															
川島町一般会計補正予算 (第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町一般会計補正予算 (第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	―
町道路線の認定															
町道路線の認定 (町道3568号線)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	―
人事に関すること															
固定資産評価員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―

(※議員名は、議席順となっております。)

総務経済建設常任委員会

地方創生臨時交付金

問 かわみんタクシーの運行経費は、今回の原油価格・物価高騰対策の臨時交付金が使われているのか。

答 かわみんタクシーの運行経費は、今回の原油価格・物価高騰対策の臨時交付金は使っていません。

町道の認定

問 県道の一部を町道に移管するという事だが、県道日高川島線の道路整備の完成後にするのか。道路整備の進捗状況は。

答 新設道路の完成後、県の供用開始に併せて町に移管されます。スケジュールとしては、今年度は詳細設計を行い、来年度以降は用地測量と物件調査を実施すると説明を受けています。

コロナ自宅療養セット

問 コロナ自宅療養セットの関係だが、町と県の情報共有はどう行っているか。セットの内容と価格は。

答 情報共有は、県から自宅療養者名簿が毎日のメールで送られてきます。セットの内容は、レトルト食品、飲料水、衛生用品等、計17種類で、平均すると1万円位です。



県道改良計画場所（天神橋東）

新設される予定の県道日高川島線

委員長コメント

中山地内の県道の新設工事が計画されております。現在の天神橋（越辺川）から東方面へ直線に延長（直売所まで）される事業です。旧国道254号から254号バイパスまで整備される事業で、利用者には利便性の向上につながります。交通安全対策をしっかりと計画された快適な道路を期待します。

文教厚生常任委員会

川島町公民館設置条例の改正

問 今回の改正では、出丸・小見野公民館をコミュニティセンターに移すことになっているが、地域住民への説明は。

答 公民館を解体するにあたり、一時的に位置をコミュニティセンターに移すことになったもので、両公民館の関係者にはご説明しています。今後、廃校の活用方法等を整理し、再度、条例改正について検討いたします。

学校給食食材費の高騰

問 国の地方創生臨時交付金を学校給食費の軽減に使用できないか。

答 原材料費の値上がりしている状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、補正予算で対応したいと考えています。

子育て支援医療費

問 子育て支援医療費の現物支給が埼玉県内全体に広がったが。

答 川島町では18歳になった年の年度末まで、子育て支援医療の対象です。資格証の提示により医療費は窓口払い不要ですが、システム上の理由等で現物支給ができない医療機関等があります。



解体予定の出丸公民館（左）と小見野公民館（右）

コロナウイルス感染症前の日常へ

委員長コメント

町では新型コロナウイルス感染症が徐々に収まって来ている状況ですが、まだまだ油断は出来ません。園児や児童・生徒の皆さんが普段の生活に戻り遠足や修学旅行、運動会や文化祭などの学校行事等、一日でも早く感染前の状態で行われることを願っています。



町の考えを問う

町政一般質問要旨 6月13日、14日、15日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。
 ※質問項目の区分により太字にしています。

渋谷 幸司 議員
1 地産地消と給食の取組みについて 2 大規模水害で人的被害者を出さない取組み
稲村 美代子 議員
1 ゼロ・ウェイストの推進について
矢内 秀憲 議員
1 鳥羽井沼の都市公園化について 2 子ども第三の居場所の創設提案について
爲水 順二 議員
1 不用品買取業者の実態について 2 空き家対策について 3 子ども議会の質疑応答のその後について
石川 征郎 議員
1 交差点改良をすべきと考えるが
柴田 一典 議員
1 川島町空家等対策計画の進め方について
道祖土 証 議員
1 小中一貫教育について 2 地域商社「一般社団法人さまちか」について
加藤 進 議員
1 町の交通安全対策の推進について 2 旧小学校の利活用について
粕谷 克己 議員
1 コロナ禍における原油価格・物価高騰等緊急対策について 2 東部地域のまちづくりと企業誘致について 3 小中一貫教育校の開校と小学校施設の利活用について
菊地 敏昭 議員
1 自動運転時代を見据えた町の道路行政は（インフラ整備） 2 DX推進室の推進状況について 3 バラ祭りについて 4 小動物について

問 給食における地産地消の取組みは。

答

出来る限り町内の農業者から農産物を購入して活用したい。

問 町の基幹産業である農業を支えるためにも、学校や保育園での給食に地場産（川島産）の食材をより多く活用する事が重要ですが、給食の地産地消を推進する町の取組みは。

答 学校の給食のお米は、全量川島産の「彩のきずな」を使用しています。令和3年度の学校給食費は6,563万円で、川島産のお米と野菜は総額475万円、全体の7・2%となっています。保育園では3〜5歳児は主食を持参していますが、今後は主食を園で提供する事を検討しています。また、今後、地場産農産物を給食に安定供給できるか調査し、若手の新規就業者等の農業者支援も進めていきたい。

問 「令和3年度水害時の避難に関する実態調査」では、町内の緊急避難場所に避難する方が多く、収納可能人数を超えてしまう恐れがあります。大規模水害時でも人的被害を発生させないための具体的な取組みは何か。



渋谷 幸司
しげや こうじ

答 調査結果を踏まえて、町内の緊急避難場所にとどまるのではなく、さらに町外へ広域避難をしていたり、説明会や出前講座等で周知していきます。また、町の東側に広域避難場所の確保や、新たな取組みとして、避難場所の混雑情報を提供する可視化サービス事業を進めております。



玉ねぎスープ美味しいよ！
(保育園で川島産の玉ねぎを使用)

問 ゼロ・ウェイスト推進の今後の取り組みは。

答

ごみ減量チェックリストの作成・配布などを計画しています。

問 二〇二〇年度、二〇二一年度の可燃ごみの量と県内順位は。

答 二〇二〇年度の可燃ごみの量は5,006tで、63市町村中少ない方から数えて15番目。二〇二一年度は4,836tですが、現時点では、順位は出ておりません。

問 ゼロ・ウェイスト推進室の名称が町の組織表からなくなりました。ゼロ・ウェイストを推進する上で、この名称は重要と考えるが、町の考えは。

答 ごみ処理施設の老朽化や近隣自治体との広域処理といった課題への対応が不可欠であり、ごみ処理施設整備推進室を新たな名称として、今年度設置しました。

問 ゼロ・ウェイスト推進は今後どのように取り組んでいくのか。

答 令和3年3月策定の「一般廃棄物処理基本計画」では、食品ロス削減運動の推進、生ごみの水切り徹底とごみ減量チェックリストの作成・配布を計画しています。また事業系ごみの減量、



稲村 美代子
いなむら みよこ

事業者やNPOなどとの連携によるごみの活用、ごみ減量・分別の徹底についての広報・啓発の強化を掲げています。

問 学校給食では、パックの牛乳が提供されているが、ストローなしの物を使用する考えは。

答 給食用の牛乳は、県の学校給食会から購入しており、現時点では対応が難しいという話です。脱プラスチックの取り組みとして、バイオ由来のストローを検討しているとのこと。



ストローなしで飲める「School POP」
(日本製紙(株)提供)

問

鳥羽井沼を都市公園化してバーベキュー広場などの整備はどうか。

答

都市公園化を視野に入れて整備の早期実現を進めます。

問 町の土地利用構想では、鳥羽井沼を「公園・緑地系地域」と位置づけられているが、どのような将来イメージなのか。

答 鳥羽井沼の湖沼を活かしつつ、バーベキューなど楽しんでいただけるような親水公園をイメージしています。

問 町の関係人口増加、新たな価値の創出の観点から、鳥羽井沼周辺をどのように考えているのか。

答 鳥羽井沼は、観光拠点としての可能性を秘めているため、関係人口拡大につながると考えています。

問 都市公園化によるメリットは、住民にとっては安心して利用できること。また、町にとっては、都市計画法における市街化調整区域内の開発許可等の基準が緩和され、スムーズな整備が進められます。よって、都市公園に格付けすることが必要と考えるがどうか。

答 都市公園化を念頭に置き、住民の方々が、バーベキューなどを楽しめる公園になるように進めてまいります。



矢内 秀憲 (やちのり へいで)



明るい将来の鳥羽井沼周辺

問 地元には「鳥羽井沼を愛する会」(任意団体)があるが、公園利用においての維持管理などを当該団体をお願いすることは考えられるがどうか。

答 地元の「鳥羽井沼を愛する会」にお願いすることが望ましいと考えます。そのために、関係機関や地元の方々と意見交換をしながら研究してまいります。

問

不用品買取業者のヤードにゴミ山にして放置しているが、

答

県と連携し、業者に対し指導・対応してまいります。

問 町内業者の把握は。

答 鉄くずやバッテリー、金属スクラップ等の有価物の売買を行っている事を把握しております。高い囲いで囲われた業者が多く、大量の廃棄物が搬入され置き去りにされてしまうなどの問題事例が発生しており大変憂慮しております。

問 伊草地区内にゴミの山となって数年来放置されている場所があるが町での対応は。

答 東松山環境管理事務所と連携を図り、本人への指導、現場調査を実施しています。具体的には、改善命令や勧告文書の発出、自宅への訪問など行っています。

問 放置箇所について近隣住民が不安に思っている事について町長の思いは。

答 皆様が不安に思っていることは十分に認識しており、何とかしたいという思いです。引き続き、県と連携しながら、業者に対して粘り強く対応してまいります。



水 順二 (みず じゅんじ)

問 町内空き家の実状と課題は。

答 空き家件数は141件を把握しており、年々増加しています。今後「空家等対策計画」に基づき、取組を充実させ、より一層空き家対策を推進してまいります。

問 特定空家となる可能性がある物件数は。

答 調査では14件ほどです。

問 令和2年2月に行った子ども議会の質疑応答のその後については。

答 答弁した内容に沿い、行政を進めています。



放置状態の産業廃棄物の山 (伊草地区内)

問 戸守交差点を改良すべきでは。

答 県と協力連携してまいります。

問 県道212号線（岩殿観音南戸守線）と旧国道254号線の交差する戸守交差点の渋滞緩和のために、右折帯の設置などを行い、改良すべきと考えるが。

答 町といたしましては、戸守交差点を含めた地域全体の道路整備を、県と協力連携して、円滑で安全な道路交通の確保ができるようにしてまいります。

問 近年、戸守交差点周辺企業の従業員の増加により、企業への通勤車両は、どの程度あるのか。

答 戸守交差点周辺の主な事業所16社の従業員総数は1,029名で、そのうち通勤に車を使用する従業員は790名余りです。

問 戸守交差点は、交通量の増加と、変形した交差点である事は、事実であり、過去に死亡事故も発生しておる所でありますので、危険であると考えているが。

答 戸守交差点につきましては、危険な交差点であることは認識しておりますので、道路線形や交差点の形状など再度確認を行い、

道路形態の変更や交通量の変化を視野に入れて、管轄する東松山県土整備事務所と協議をしてみたいと考えております。



石川 征郎
いし かわ ゆく お



改良が待たれる戸守交差点

問 空家等対策計画の進め方は。

答 来年度より具体的な施策ができるよう進めていきます。

問 全国的に空き家が増え、長期間使用されず、適正な管理が行われていない空き家が増えています。町でも、これまでに、空き家の実態調査や、所有者へのアンケート調査を行い、空き家バンク制度の創設や、町のシルバー人材センターとの「空き家等の適正な管理の推進に関する協定」などの締結を行い対応してきた経緯があります。

そんな中、町では、この3月に、空き家対策をもう一步前へ進めるため、「川島町空家等対策計画」を定め、姿勢を示したものと理解しています。そこで、次の質問をさせていただきます。

①空き家の解体に対する町の支援には、国の補助を見込めることなどから、早期に設定すべきものと思われるが、いつ頃からの支援を考えているのか。

②相続を開始してから3年以内、建物は昭和56年5月以前に建築されたものなどの条件がありますが、相続などにより取得した空き家を、売却した場合の譲渡所得について



柴田 一典
しば た かず のり

3,000万円の特別控除があります。該当者にとっては、処分の際の大きな判断材料になるので、町としても、周知が必要ではないか。

答 解体への支援については、今年度中に、関係機関と調整し、来年度からの補助の実施を考えています。また、特別控除については、死亡による納税者の変更などの機会に、周知していきたいと思えます。



倒壊寸前の特定空家
(国土交通省のサイトより)

問 小中一貫校の場所は変更可能か。

答 町民の意向を踏まえ検討。

問 令和17年度を目途に町内すべての小中学校を同一施設に集約し川島町役場周辺に小中一貫教育校を整備するところがあるが、設置場所の変更は可能なのか。

答 保護者や地域の方々の意向を踏まえ設置場所は検討します。

問 つばさ南・北小の統合による小中一貫校を令和7年度に決定した理由は。

答 つばさ南・北小の開校時に入学した児童が卒業する時期を踏まえ令和7年4月を目途にしました。

問 小中一貫校のデメリットと解決方法は。

答 ①子どもたちの人間関係や相互の評価の固定化が考えられ、解決策としては、通常の小中学校以上に多様な方と関わる豊かな機会を設けることが必要です。
②小学校高学年によるリーダー性育成の阻害が考えられ、解決策としては学校行事などで6年生の出番を確保しリーダー性の育成も必要とされています。
③転出入する児童生徒への対応



証 道祖土 といさむ

については、新たな学校へ適応する際は、学習内容など児童生徒や保護者の疑問や不安を解消する機会を十分に設けることが必要とされています。

④実施に伴う教員の多忙感や時間の確保の対応は、既存の小中学校の業務や役割分担を見直すことが必要とされています。

問 小中一貫校が開校した時の伊草小学校児童の対応は。

答 伊草小の児童が中一になった時に中学校の先生と「伊草小の子供たちに十分配慮していきましよう」となっています。



令和7年度を目途に開校へ小中一貫校（施設一体型）

問 ドライブレコーダーの補助制度創設は如何か。

答 社会情勢を注視し検討を実施します。

問 最近、テレビなどで事故の瞬間やあり運転の様子などに、ドライブレコーダーで記録した映像が使用される事が多くなり、多くの方がドライブレコーダーのことを認知していると思います。ドライブレコーダーは「交通事故」や「あり運転」など、不測の事態に対応するための記録・証拠として、さらには、犯罪抑制のツールとしても活用されています。このように普及しつつあるドライブレコーダーの認知度や普及率はどの位か。

答 ドライブレコーダーの認知度は高まっており年々増加傾向にあると考えております。バス、タクシーは9割程度。町の公用車は100%装着しております。

問 川島町にドライブレコーダーの普及促進をさせることは交通安全と交通事故減少につながると思いますが、ドライブレコーダーの補助制度創設の考えは。

答 今後の社会情勢を注視し、必要に応じて補助制度の検討を実施していきます。



進 藤 すすむ かつとう

問 旧小中学校は地域住民への開放を中心に利用したり、映画の撮影など積極的に開放し料金収入を得て少しでも維持費に充てています。また、有事の際には、避難所としての顔も持っています。そこで有事の際の防災知識、特に炊き出し訓練などを学べる場所として利用出来ないか。

答 昨年度の使用料は、650万円程です。実際の避難所となる場所での炊き出し訓練は質の高い防災教育にも繋がるため、柔軟に対応してまいります。



簡単かまど作り

問 学校給食の食材高騰に補助ができないか。

答 食材の値上には、国地方創生臨時交付金を活用し対応します。

問 町の原油価格・物価高騰緊急対策として農業者や中小企業者に支援事業を行う考えは。

答 町内の商工事業者や農業者がどのような影響を受け支援が必要なのか実態を調査把握しています。支援事業(国交付金対応)実施に向け準備しております。

問 都市計画マスタープランが改定されたが、東部地域に産業系12号の追加指定ができないか。

答 町は平成15年に産業系12号の区域指定を町東部2地域(約12ha)に行っており、現在、進出企業は7社で、約7haが建築済みです。町が指定する区域全体で建築の総面積が8割を超えれば開発許可制度上は追加指定が可能です。

問 市街化調整区域でも企業誘致を促進し地域経済の活性化や雇用の創出につなげていくことが必要と考えるが、優遇策を設けてさらに企業誘致ができないか。

答 7社の総従業員数は196名(内町内在住35名)と雇用の創出につながっています。川島インター



粕谷 克己
かす や かつ み

チェンジもあり立地条件が良いことから、優遇制度を設けた企業誘致は考えておりません。

問 町は令和7年度に小中一貫教育校の開校を目指すと公表したが、廃校2小学校の活用が未定のまま、さらに3年後には2校の廃校が見えられ、今後どのように活用を図っていくのか。

答 当初民間活力を導入した施設を目指していましたが、用途変更ハードルがあり、国に規制緩和を要望しています。引き続き、多方面からアイデアをいただき方向性を定めてまいります。



東部地区の産業系12号指定地域に7社が進出・町民の雇用と地域の活性化につながっています

問 自動運転時代を見据えた町の道路行政は。

答 インターチェンジ(IC)南側開発の新しいキーワードで進めます。

問 川島町最大の社会インフラ整備と言える川島ICが供用開始され14年が過ぎ、2025年には自動運転はレベル4になり、高速道路では自動運転が実現しそうです。自動運転が実現すると大型商業車がICからICまで無人で走ります。川島ICからの引き込み道路とモータープールの創設の考えは。

答 IC南側開発を進めており、新たなキーワードになると確信いたしました。考慮してみたいと思います。車の大型化ということで、交差点の隅切りも見直します。

問 バラ祭りがコロナ感染症の影響を受けて2年間イベントが開催されませんでした。令和4年度の来場者の人数・来場手段・駐車スペース・出店者の経済効果は。

答 令和元年度は約7千人、令和4年度は約1万人で、自家用車が多く、駐車場の不足はありませんでしたが、一時的に道路上に渋滞が発生しました。

問 特定外来小動物の捕獲用の檻は何個用意されて、不足すること



菊地 敏昭
きく ち とし あき

は、また、捕獲した種類と頭数は、檻は約90器保有し、毎年20器購入しています。アライグマは、年々増加し、令和元年度は331、令和2年度は291、令和3年度は429頭で、令和4年度は2か月でアライグマ80頭です。ハクビシンは、令和元年度は30、令和2年度は11、令和3年度は12頭です。

問 アライグマ等の有害小動物は年々増え、檻の貸出しの予約待ちが発生し、個人で買っている人もいる。報奨制度導入の考えは。

答 町民の力を借り対策をし、今後その報奨制度を考えます。



なんとかせねばアライグマ

川越地区消防組合議会

森道 祖士 敏男 証
加藤 藤田 進

令和4年川越地区消防組合議会第1回定例会は3月25日に開会されました。

議案第1号 川越地区消防組合個人情報保護条例の一部を改正する条例を定めることについて

議案第2号 川越地区消防組合消防団条例の一部を改正する条例を定めることについて

議案第3号 川越地区消防組合消防職員定数条例の一部を改正する条例を定めることについて

議案第4号 令和3年度川越地区消防組合一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ4,626万8千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ53億7,895万1千円とするものです。

議案第5号 令和4年度川越地区消防組合一般会計予算

歳入歳出予算それぞれ55億2,317万6千円を定めるものです。

川越地区消防組合とは？

○川越地区消防組合は昭和48年に設立し、川越市、川島町の2市町によって組織されています。消防・救急、火災類取締法・液化石油ガス法・高圧ガス保安法に基づく事務を実施しています。

予算の編成特徴は、予算編成方針で重点施策として掲げた消防救急体制の整備の確実な推進に向け、限られた財源を重点的かつ効率的な配分を行い、初動消防力の強化、救急業務体制の整備、火災予防対策の推進、そして消防施設の充実を図るため、消防活動拠点として災害に強い庁舎整備及び各種施策事業に取り組む予算編成となっています。

令和3年度については連絡車1台の配備のみでしたが、令和4年度は、高規格救急自動車2台、高度救命処置資機材2式、連絡車1台の更新整備、川越市消防団車両1台の更新整備を見込んでいます。そのほかの主な事業は新消防庁舎に係る実施設計業務委託、川越地区消防組合設立50周年事業を見込んでいます。

全議案は原案どおり可決しました。（森田）

比企広域市町村圏組合議会

小松 菊地 敏昭

令和4年第2回比企広域市町村圏組合議会臨時会は、5月24日、東松山市議会議場において開会しました。

今回提案された議案は、専決処分1件、財産の取得2件、条例の改正1件の4議案です。

議案第14号 専決処分について 比企広域市町村圏組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について、人事院規則の一部改正が令和4年2月17日に公布されたことに伴い、緊急に改正する必要が生じたためのもので

議案第15号 財産の取得について 滑川分署水槽付消防ポンプ自動車の購入ですが、消防の関係です。

ので、説明を省略します。

議案第16号 財産の取得について 小川消防団第一分団第四部消防ポンプ自動車の購入ですが、消防の関係ですので、説明を省略します。

議案第17号 比企広域市町村圏組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について 人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告に鑑み、一般職員の期末手当の改定を行うため、条例の一部改正を行うものです。

全ての議案が原案どおり可決されました。

（菊地）

比企広域市町村圏組合とは？

○比企広域市町村圏組合は、昭和48年に設立し、東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、ときがわ町、東秩父村の8市町村によって組織されています。

消防・救急業務、斎場の管理運営、また、介護障害審査会を設け、要介護や障害支援認定の申請に対して効率・公平的に判定作業を行うなどの事務を実施しています。

※川島町は「川越地区消防組合」に加入しているため、比企広域市町村圏組合の消防救急業務には適用していません。

議会日誌

4月

6日 議会報編集委員会

5月

9日 議会運営委員会

議会全員協議会

11日 5月臨時会

29日 議会災害対応訓練

町水防訓練視察

6月

1日 議会運営委員会

議会全員協議会

6日 議会運営委員会協議会

8日~15日 6月定例会

13日 議会報編集委員会

15日 議会全員協議会

地方創生・行財政特別委員会

ごみ処理施設建設に関する特別委員会

28日 議会報編集委員会



参集訓練の様子



町水防演習実施状況の視察
(三保谷宿地先)

川島町議会では、大規模な災害が発生した場合に、町に設置される災害対策本部と連携を図り、被害の防止及び災害の復旧に寄与することを目的とした「川島町議会災害対策会議設置要綱」を定めています。その設置要綱に基づき、令和4年度の町議会災害対応訓練を実施しました。

今回の訓練では、「町水防訓練」の実施に合わせ、町議会災害対策会議設置訓練、自宅から議員控室までの参集訓練を実施しました。

実施日/令和4年5月29日(日) 午前9時30分から午前11時30分まで

川島町議会災害対応訓練

9月の定例会予定

議案審議

一般質問

9/1 (予定) 木

9/13 (予定) 火

9/15 (予定) 木

9月定例会は9/1~9/15の予定です。

表紙解説

「今日のスープおいしいね!」
地元の農家さんが生産した玉ねぎを使った「オニオンスープ」が、町立保育園の給食に活用されました。玉ねぎの甘味がして美味しい!お腹がいっぱいになった子どもたちは笑顔もいっぱいです!

町内の農業は、高齢化や後継者不足に米価の下落・農業資材等の高騰で大変厳しい状況です。川島の農産物をより多く保育園や学校での給食に活用することは、販路の拡大につながります。また、食育を取り組む中で、地元で農業を目指す若者も出てきて欲しいです。
(写真・文章/渋谷)

編集後記

田植えの風物詩、緑のじゅうたんが町一面になりました。今年は6月に関東地方は梅雨が明けてしまい水不足が心配されます。秋には、たわわに実る稲穂になりますように。

さて、コロナ禍も3年が経過し、ワクチン接種も4回目になります。ワクチン予防で重症化を防ぐので、接種できる方は、忘れずに。

また、コロナが長引く世の中で世界情勢も混沌としており、物価高になり生活も不安定になっています。国の地方創生臨時交付金等を活用して、町民の皆様が笑顔になる世の中になりますよう議会議員一同、鋭意努力してまいります。
(新井)

議会報編集委員会

委員長	新井悦子
副委員長	渋谷幸典
委員	柴田一典
委員	粕谷克己
委員	矢内秀憲
委員	加藤進
相談役	小松治